

公益社団法人 五所川原青年会議所

2025 年度 委員会基本方針・事業計画

総務事務局

事務局長 工藤 智哉

基本方針

JCI 五所川原は私達が住み暮らすこの地域の「明るい豊かな社会」の実現を目的とし、昭和 39 年設立から様々な事業を展開して参りました。先輩諸兄姉より受け継がれてきた創始の精神を絶やすことなく次の世代へと受け渡さなければなりません。公益社団法人としての自覚を持ち法令を遵守し公益性が伴う青年会議所運動を展開し、この地域から更なる信頼と期待を頂けるよう規律ある組織の構築、その運動に対しての情報発信と活動報告を速やかに発信していかなければなりません。

その為に、総務事務局では執行部や各委員会との連携を図り、SNS を活用し青年会議所運動を発信し地域への認知、浸透を図ります。公益法人制度に則り信任ある組織運営を確立し、「新年祝賀会」をはじめ 2 月、9 月の通常総会や各種定例会を円滑に執り行うことで強靱な組織体制を築いて参ります。先輩諸兄姉とのコミュニケーションや青年会議所運動への理解を得られるよう「OB 交流会」を実施し、先輩諸兄姉との連携をより深めて参ります。

公益社団法人としての自覚を持ち、信任ある組織運営の確立を図りながら当会の積極的な運動展開を支え、柔軟さと規律ある強靱な組織へと「成長」することで、この地域のトップランナーとなり「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信し、一年間邁進して参ります。

29 事業計画並びに事業予算

30 ※ 例会の主管

31 ◎ 定例会（1月）他1

32 「新年祝賀会」

33 2025年度の当会活動内容並びに、方向性を関係諸団体に認知と浸透を図ることを
34 目的とした定例会

35	・通信運搬費	55,000円	・消耗品費	5,000円
36	・印刷製本費	15,000円	・賃借料	100,000円
37	・委託費	950,000円	・雑費	5,000円

38

39 予 算 1,130,000円

40

41 ◎ 定例会（2月）管理費に計上

42 「通常総会」

43 2024年度の事業報告並びに収支決算報告承認をいただく事を目的とした総会

44	・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	3,000円
45	・印刷製本費	4,000円	・賃借料	15,000円
46	・委託費	4,000円	・雑費	2,000円

47

48 予 算 35,000円

49

50 ◎ 定例会（4月）他1

51 「OB交流会」

52 OBとの交流を目的とした定例会

53	・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	3,000円
54	・印刷製本費	4,000円	・賃借料	60,000円
55	・委託費	4,000円	・雑費	2,000円

56

57 予 算 80,000円

58

59 ◎ 定例会（7月）他1

60 「役員選考委員会委員選挙」

61 役員選考委員会委員を選出する事を目的とした定例会

62	・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	2,000円
63	・印刷製本費	5,000円	・賃借料	15,000円
64	・委託費	5,000円		

65

66 予 算 33,000円

67

68

69

70	◎ 定例会（9 月）管理費に計上			
71	「通常総会」			
72	次年度役員候補者並びに組織図案の承認、監事選出を目的とした総会			
73	・通信運搬費	7,000 円	・消耗品費	3,000 円
74	・印刷製本費	4,000 円	・賃借料	15,000 円
75	・委託費	4,000 円	・雑費	5,000 円
76				
77			予 算	38,000 円
78				
79	◎ 定例会（12 月）他 1			
80	「次年度説明会及び LOM 内褒賞」			
81	次年度の活動内容の報告をし、次年度へ引き継ぐ。また、2025 年度青年会議所運動に貢献・功			
82	労したメンバー及び委員会への褒賞を行う事を目的とした定例会			
83	・通信運搬費	5,000 円	・消耗品費	5,000 円
84	・印刷製本費	14,000 円	・賃借料	50,000 円
85	・委託費	6,000 円	・雑費	20,000 円
86				
87			予 算	100,000 円
88				
89			事業費合計	1,416,000 円
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				

公益社団法人 五所川原青年会議所

2025 年度 委員会基本方針・事業計画

青少年委員会

担当副理事長 野上 新一朗

基本方針

何年も前から世間で騒がれている「少子化」、子 1 人世帯も多く見受けられる中で、学校以外での子ども同士での遊びや学びが減少傾向にあります。それに伴い、学校生活での人との関わり方や地域の人との関わり方が思うようにうまくできず、子ども達の自立心、協調性、人との関わり方の能力低下が懸念されます。我々 JCI 五所川原で様々な策を考えて子ども達が伸び伸びと成長でき、豊かな人間性を育む機会を創出することが必要です。

その為にまず、会員の皆様に青少年育成に対する意識を向上していただく機会を提供いたします。そして、この地域に住み暮らす「青少年の健全な育成」を目指す事業として、自然の中での徒歩修行を開催し、子ども達が伸び伸びと成長できる環境を用意し、自分自身で考えて判断することができる力が身に付き、自立心と協調性が育まれ、仲間と共に過ごし触れ合う中で思いやりの心とかけがえのない友情を築いて参ります。

この事業を通じて、こども達が仲間と共に苦楽を分かち合うことで「青少年の健全な育成」に繋がり、その経験は今後の地域の未来を担っていく青少年へと成長し地域で活躍できる大人へと成長していくことと信じ 1 年間取り組んで参ります。

委員長 貴田 祐吾

基本方針

今の時代、近所の、地域の人々の顔を知っている子ども達はいるでしょうか。子ども達を遠くで、近くで見守る大人たちはいるでしょうか。時代の変化に伴い、子供たちは地域での活動の機会や人とのつながりの機会が減少してきております。このままではこの地域の「青少年の健全な育成」の想いを次世代へと引き継ぐことが困難になってきます。子供たちが地域と人と交流をし、想いを培っていく必要があります。

まずは、我々会員が青少年を取り巻く環境や課題について認知、考察できるよう「青少年キックオフ事業」を行い、青少年へのかかわり方の根本的な意識付けをします。そのうえで、「じょっぱりロード 2025」及び参加学生対象の「ボランティア研修会」を開催し、西北五地域の自然の中で青少年が成長できる徒歩修行となるように会員一丸となって取り組みます。学生ボランティア及び参加者が、普段とは違う立場や環境の中で、新たな価値観や友情を育み、達成感を分かち合う機会とします。

仲間と過ごし得た経験は、この先の人生においてかけがえのないものとなり、困難に直面した際には一助となることを願っております。加えて、地域の「青少年の健全な育成」に興味を持ち、自発的に参画できる人材になるよう、取り組んで参ります。

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

事業計画並びに事業予算

※ 例会の主管

- ◎ 定例会 （５月）他２
「キックオフ事業（仮称）」
青少年育成に関する事業

・通信運搬費	2,000 円	・消耗品費	1,000 円
・印刷製本費	2,000 円	・賃借料	5,000 円
・委託費	20,000 円		

予 算	30,000 円
-----	----------

※ その他の事業

- ◎ 定例会 （８月）公１
「じょっぱりロード 2025（仮称）」
「青少年の健全な育成」目指す事業

・旅費交通費	410,000 円	・通信運搬費	6,000 円
・消耗品費	63,000 円	・印刷製本費	22,000 円
・燃料費	12,000 円	・賃借料	32,000 円
・保険料	150,000 円	・諸謝金	13,000 円
・委託費	258,000 円	・雑費	24,000 円

予 算	990,000 円
-----	-----------

事業費合計	1,020,000 円
-------	-------------

公益社団法人 五所川原青年会議所

2025 年度 委員会基本方針・事業計画

まつり委員会

担当副理事長 高橋 溪太

基本方針

「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて開催されてきた「奥津軽虫と火まつり」は、2025 年度で第 53 回目を迎えます。半世紀以上の長きに渡り愛されているまつりも、参加団体の減少や後継者不足、物価高騰等の時代の煽りを受けながらも開催されてきました。様々な問題を解決し継続していくためには、われわれ JCI 五所川原が先頭になり関係諸団体とより連携できる環境をつくり、まつりのすそ野を広げ、地域の幸せを願い続けてきた伝統を継承していかなければなりません。

その為に、会員がまつりについて意識を高める活動を行います。そして、地域の学生たちにまつりの意義を学んで頂き、子供達へまつりの伝承をしていく事ですすそ野を広げる運動を行います。また、このまつりが今後も継続できるように、関係諸団体と密な連携の下「奥津軽虫と火まつり実行委員会」を組織し、この地域に受け継がれていく運動をしていきます。さらに、「五穀豊穰」の願いで実った農作物を活用した事業を開催します。

先人達より受け継がれてきた伝統文化の燈火と不撓不屈の精神、地域の幸せを願う方々の思い、会員一丸となつての行動力は、この地域の「弥栄」に繋がると信じて、1 年間職責を果たせるよう邁進してまいります。

委員長 島谷 昌孝

基本方針

「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」この祈りを込めて、幾多の時代を越え津軽の地に深く根付き、先人たちの思いが脈々と継がれた「奥津軽虫と火まつり」。この火は、五所川原の先達が灯し続けた魂の遺産であり、私たちが守り手として引き継ぐべき地域の宝です。しかし、物価高騰、人口減少による後継者不足といった難局が押し寄せ、まつりを継承する事がかつてない重要な課題となっています。地域の弥栄を願う伝統文化を守り抜き、その燈火をより多くの若者に伝えていくことにあります。

「親善大使事業」を通して、地域の高校や大学と連携し「親善大使」を認定し、小学生を対象に出前授業でまつりの意義を伝え、参加の機会を設けることでまつりの本質を体感させます。そして秋には「五穀豊穰の喜びを伝播する事業」を実施し、津軽の大地がもたらす恵みに触れてもらう場を提供します。こうした活動を通じて、若い世代が津軽の誇りとともにこの「祭」を次代へと継承し、地域に根ざした伝統が未来へと渡ることを目指します。

津軽の誇りと、先人たちが紡いできた不撓不屈の精神を携え、私たちは「奥津軽虫と火まつり」の燈火を未来へと渡します。地域のルーツを伝えることでJCI五所川原の一員として、地元と共に歩み、更なる絆と郷土愛の醸成に繋がると確信し、この「祭」を未来へ託すべく邁進してまいります。

35 事業計画並びに事業予算

36 ※ 例会の主管

37 ◎ 定例会 (6月) 公2

38 「第53回奥津軽虫と火まつり」

39 JCI五所川原が主催し、地域の人々や参加者と共に「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穡」
40 「悪疫退散」の祈りを込め、地域の幸せを願う定例会。

41

42	・旅費交通費	10,000 円	・通信運搬費	60,000 円
43	・修繕費	20,000 円	・消耗品費	1,000,000 円
44	・賃借料	200,000 円	・印刷製本費	60,000 円
45	・諸謝金	400,000 円	・保険料	250,000 円
46	・委託費	2,000,000 円	・支払負担金	50,000 円
47	・雑費	200,000 円	・衛生費	250,000 円

48

49 予 算 4,500,000 円

50

51

52 ◎ 定例会 (10月) 他3

53 「五穀豊穡の喜びを伝播する事業」

54 津軽の大地がもたらす恵みに触れてもらう場を提供する定例会。

55

56 ・委託費 100,000 円

57

58 予 算 100,000 円

59

60

61 ※ その他の事業

62 ◎ 「奥津軽虫と火まつり親善大使事業」(3月～6月) 公2

63 高校生・大学生から成る「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活動する事業

64

65	・通信運搬費	10,000 円	・消耗品費	5,000 円
66	・印刷製本費	15,000 円	・賃借料	10,000 円
67	・保険料	30,000 円	・委託費	30,000 円
68	・雑費	20,000 円		

69

70 予 算 120,000 円

71

72 事業費合計 4,720,000 円

73

公益社団法人 五所川原青年会議所

2025 年度 委員会基本方針・事業計画

資質交流委員会

担当副理事長 川浪 剛功

基本方針

当会は、様々な年齢、職業、性別の会員を迎え入れ、多様性溢れる青年経済人が集まっています。定例会や事業、他 LOM との交流の場を通じて、会員は異なる視点や価値観を学び、「成長」してきました。しかし、近年では在籍年数の短い会員が増え、受け継がれてきた文化や組織力が低下する懸念があります。また、地域住民が参加・交流できる祭りである五所川原立佞武多は、参加するための窓口が分かりにくい現状があり、参加機会を今以上に拡大する必要があります。

会員が当会活動への関心を高め、楽しく積極的に取り組むための「資質交流事業」を実施し、新入会員に定例会の企画・運営を任せる機会を提供することで、資質向上と結束力を強化していきます。

さらに、他 LOM との交流を促進し、つながりを強固にしていきます。また、五所川原立佞武多に興味のある市民に対して、「親子 de 立佞武多」「親子 de 囃子」事業を関係諸団体と共に開催し、交流を通じてその魅力を伝承していきます。

多くの学びと交流を経て経験を積んだ会員は、自発的に地域の問題を解決できる人財へと「成長」し、当会のさらなる底上げとなり、五所川原立佞武多に参加し楽しんだ市民と共に地域社会により良い変化をもたらし、「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信しています。

委員長 木村 重太

基本方針

当会は同じ地域に住まう様々な青年経済人が集まり、定例会や事業を通して多くの経験をし、沢山の方と関わってきた事で「成長」してまいりました。しかし様々な要因により会員数特に在籍期間の長い会員が減少の一途をたどっています。それにより受け継がれてきた文化や組織力が低下する懸念があります。また受け継いでいくべき地域文化である五所川原立佞武多は参加するための窓口が分かりにくいといった現状がありました。

その為、会員に JCI 活動を理解してもらう機会を提供し、更に定例会や事業に参加したくなるような取り組みを行っていきます。また、他 LOM と交流を図りながら JCI 五所川原の良さを再確認できる事業を行い更に LOM 内の結束力を高めていきます。そして新入会員が企画立案を行った事業を LOM 内で振り返りながら役職の壁を超えた関係を構築していきます。また「親子 de 立佞武多」「親子 de 囃子」事業を開催する中で多くの方と立佞武多の運行を行い、文化を伝承していきます。

当委員会の活動に多く参加することで JCI 五所川原としての理解が深まり資質向上が見られ、更に地域に根付いた立佞武多という文化に触れることで文化を継承し、会員一人一人が地域社会により良い変化をもたらすことができる人財へと「成長」してくれることを確信しています。

事業計画並びに事業予算

◎ 定例会 （3月）

「会員資質向上に関する事業」

JCI 活動とはどういったものを学び、さらに他 LOM からの JCI 五所川原の印象そして先輩から JCI 五所川原とはどういった特色があるかを教授していただき当会の魅力を知り伸ばしていく定例会。

・通信運搬費	5,000 円	・消耗品費	5,000 円
・印刷製本費	15,000 円	・賃借料	15,000 円
・委託費	10,000 円	・雑費	10,000 円

予 算	60,000 円
-----	----------

◎ 定例会 （11月）

「新入会員が主体的に関わる交流事業」

入会してから間もない新入会員に事業もしくは定例会の企画をしてもらい、実際に会員でその活動を振り返り、在籍年数の壁を越えていく定例会。

・通信運搬費	7,000 円	・消耗品費	3,000 円
・印刷製本費	4,000 円	・賃借料	10,000 円
・委託費	4,000 円	・雑費	2,000 円

予 算	30,000 円
-----	----------

※ その他の事業

◎ 「3LOM 交流事業」（4月）他 1

地域に根付いた五所川立佞武多をこども達に参加してもらい次世代に伝統を繋いでもらう事業。

・通信運搬費	3,000 円	・印刷製本費	2,000 円
・雑費	5,000 円		

予 算	10,000 円
-----	----------

◎ 「親子 de 立佞武多 2025（仮称）」（8月）公 3

地域に根付いた五所川立佞武多をこども達に参加してもらい次世代に伝統を繋いでもらう事業。

・通信運搬費	10,000 円	・消耗品費	40,000 円
・印刷製本費	20,000 円	・雑費	30,000 円
・委託費	900,000 円		

※本事業は五所川原市の補助金で運営するとして当会からの持ち出しは 0 円とする

予 算	1,000,000 円
-----	-------------

◎ 「親子 de 囃子 2025（仮称）」（8 月）公 3

立佞武多に参加するだけではなく囃子という文化を実際に行いながら立佞武多の楽しさを知ってもらふ事業。

・通信運搬費	5,000 円	・消耗品費	10,000 円
・印刷製本費	15,000 円	・雑費	5,000 円
・委託費	90,000 円		

※本事業は五所川原市の補助金で運営するとして当会からの持ち出しは 0 円とする

予 算	125,000 円
-----	-----------

事業費合計	1,225,000 円
-------	-------------

（内 1,125,000 円は五所川原市の補助金とする）

公益社団法人 五所川原青年会議所 2025年度 年間スケジュール

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
日本青年会議所	京都会議 24日(木)～26日(木) 総会 京都25日(土)		総会 東京23日(土)			
東北地区協議会	正副拡大会議 郡山16日(木) 役員会議 花巻31日(金) 会員会議所会議 京都24日(金)	正副拡大会議 仙台12日(木) 役員会議 塩釜27日(木)	正副拡大会議 仙台12日(木) 役員会議 由利本荘26日(木)	正副拡大会議 仙台9日(木) 役員会議 三沢24日(木)	正副拡大会議 仙台14日(木) 役員会議 大曲28日(木)	正副拡大会議 仙台9日(月) 役員会議 盛岡27日(金)
青森ブロック協議会	役員会議 WEB 9日(木)	役員会議 WEB10日(金) 会員会議所会議 三沢1日(土) 並びに役員会議 弘前22日(土) ブロックアカデミー開校式 三沢1日(土) 並びに特別講座 三沢1日(土) 新春名刺交歓会 三沢1日(土)	役員会議 青森13日(木) 会員会議所会議 青森29日(土)並びに役員会議 ブロックアカデミー第一講座 青森	役員会議 三沢10日(木) 会員会議所会議 黒石26日(土) 並びに役員会議	役員会議 弘前8日(木) 会員会議所会議 八戸24日(土) 並びに役員会議 ブロックアカデミー第二講座 黒石	役員会議 弘前18日(木) 会頭公式訪問 23日(月)
理 事 会	6日(月)	5日(木)	4日(火)	9日(木)	7日(水)	4日(水)
青少年育成委員会					青少年キックオフ事業	青少年ボランティア研修会
まつり委員会				まつり親善大使事業		第53回奥津軽虫と火まつり 6月21日(土)
資質交流委員会			活動の理解を深める 資質交流事業			
総務事務局	新年祝賀会	通常総会		O B 交流会		

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
日本青年会議所	JCIアカデミー サマーコンファレンス 19日(土)～20日(日)			全国大会 佐賀9日(木)～12日(日) 旧総会 佐賀10日(金)	J C I 世界会議 チュニス2日(月)～9日(日)	
東北地区協議会	正副拡大会議 WEB 9日(木)	正副拡大会議 仙台8日(金)	正副拡大会議 仙台16日(木) 役員会議 秋田5日(金) 酒田26日(金) 東北青年フォーラム 秋田	正副拡大会議 仙台7日(火) 役員会議 浪江24日(金)	正副拡大会議 仙台12日(木)	役員会議 郡山4日(木) 会員会議所会議 郡山5日(金)
青森ブロック協議会	会員会議所会議 弘前5日(土) 並びに役員会議 ブロックアカデミー開校式 弘前 並びに特別講座 アオモリサマーサミットin弘前 5日(土)	役員会議 八戸8日(金) 会員会議所会議 むつ30日(土) 並びに役員会議	役員会議 青森10日(木) 会員会議所会議 五所川原27日(土) 並びに役員会議 わんぱく相撲 八戸JC主催 女子全国大会 21日(日)	役員会議 三沢8日(木) 会員会議所会議 十和田25日(土) 並びに役員会議	役員会議 弘前13日(木) 会員会議所会議 三沢29日(土) 並びに役員会議 ブロック卒業式 三沢29日(土)	
理 事 会	9日(木)	1日(金)	3日(木)	7日(火)	5日(木)	3日(木)
青少年育成委員会		青少年育成事業				
まつり委員会				五穀豊穡の喜びを 伝播する事業		
資質交流委員会		親子de立佞武多・親子de囃子 4日～8日		新入会員が主体的に関わる事業		
総務事務局	選考委員会委員選挙		通常総会			次年度事業説明会 及びL O M内褒賞